

あきた女性活躍・両立支援コーディネーターによる 企業の女性活躍・両立支援の取組の強化【秋田県】

個別事業費	11,258千円
交付金額	5,629千円

地域の実情と課題

- 本県の総人口は892,390人(令和7年1月1日現在)で、この1年間で17,111人(1.88%)減少している。また、社会動態では3,008人減少(県外への転出者14,648人)しており、人口減少や少子高齢化の進行に歯止めがかからない状況である。
- 女性の有業率(74.8%、全国13位)、育児をしている女性の有業率(82.1%、全国10位)ともに全国上位にあり、女性の社会進出は進んでいるものの、管理的職業従事者に占める女性の割合は15.6%(全国24位)と低く、意思決定過程への女性の登用は十分には進んでいない状況にある。

事業の特徴

- 若者や女性に選ばれるいきいきとした職場づくりを推進するため、企業における女性活躍・両立支援に関するワンストップ相談窓口を設置し、柔軟な働き方の導入や、女性管理職の育成・登用の推進、長時間労働の是正など、女性に魅力ある職場づくりを進める企業の取り組みについて、女性活躍・両立支援コーディネーターやアドバイザーによる伴走支援を行う。
- 県北・中央・県南の各地域にコーディネーターを配置し、女性活躍推進や両立支援に関する取組意欲が高い企業を中心に企業訪問を実施。
企業の課題等に対応した国や県等の女性活躍・両立支援に関する支援情報等の紹介等を行うとともに、企業ニーズをピックアップし、アドバイザーによる伴走支援に繋げる。

事業の効果

- コーディネーターによる企業訪問を通じた働きかけや、アドバイザー派遣による支援により、女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画の届出数が全国3位となるなど、企業の女性活躍推進や両立支援に関する理解が一定程度進んだ。
- 推進会議を通じた各団体からの働きかけを行い、男性の育児休業取得率の上昇、えるぼし、くるみん取得企業数の増加につながった。

目的・目標

- ライフスタイルに応じた柔軟な働き方の導入や、女性管理職の登用を推進するなど、女性に魅力ある職場づくりを進め、若年女性の定着につながる企業の拡大を図る。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	県内民間事業所における男性の育児休業取得率	50%(アウトカム)	48.2%	96.4%
	えるぼし、くるみん取得企業数(年度)	12社(アウトカム)	11社	91.7%

連携団体

- 【あきた女性の活躍推進会議】
- 経済団体
秋田県商工会議所連合会、秋田県商工会連合会、秋田県中小企業団体中央会、秋田県経営者協会、秋田経済同友会
 - 農業団体 : 秋田県農業協同組合中央会
 - 労働団体 : 日本労働組合総連合会秋田県連合会
 - 行政 : 秋田労働局、秋田県、秋田県市長会、秋田県町村会
 - ※オブザーバー : 金融機関、企業支援機関、男女共同参画センター、業界団体、行政機関

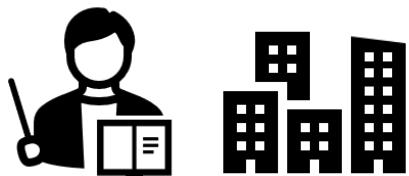
今後の課題

- 企業の一般事業主行動計画策定に向けた支援の実施により、本県における計画届出企業数は年々増加し、その成果は着実に現れている一方で、人員的、財政的理由から、計画策定後の取組の検証、見直し、高度化に向けた取組が遅れている企業も多い。
- 過去にあきた女性活躍・両立支援センターの支援を受け、行動計画を策定した企業に対して個別にアプローチして取組のフォローアップに繋げるなど、より効果的な手法の検討を行う必要がある。

事業の概要

企業における女性の活躍推進や両立支援に関するワンストップ相談窓口である「あきた女性活躍・両立支援センター」において、コーディネーターによる企業訪問や、窓口等での相談受付、専門アドバイザー派遣による伴走支援を実施した。

あきた女性活躍・両立支援センターの運営



①女性活躍・両立支援 コーディネーターの配置

- ・企業訪問による、女性の活躍推進・両立支援に関する法制度や支援策の周知
- ・訪問企業に対する企業ニーズ等の収集

R7年度実績(訪問企業数)
: 305件



②窓口、専用電話 による相談業務

- ・女性の活躍推進・両立支援に関する法制度や支援策に関する企業からの相談への対応

R7年度実績: 142件



③アドバイザー派遣による支援

- ・一般事業主行動計画の策定支援
- ・えるぼし・くるみん認定に向けた申請等の支援
- ・一般事業主行動計画に基づく取組のフォローアップ
- ・女性活躍や両立支援を推進する取組の高度化

R7年度実績: 139件